

雪見船クルーズ

運航期間

2020年1月10日金～3月6日金

※1月は土・日・月及び20名様以上の団体予約がある場合のみ運航 (2/23除く)
 ※2月、3月は毎日運航(但し、土・日・祝・月以外は最少催行人員15名様にて運航)

往路	運航内容
9:45	におの浜観光港発
10:00	大津港発
10:30	おごと温泉港発
12:20	長浜港着
復路	
14:00	長浜港発
16:10	おごと温泉港着
16:35	におの浜観光港着
16:50	大津港着

乗船料

片道 大人:3,100円 小人:1,600円
 往復 大人:5,000円 小人:2,500円

予約制 特製弁当 特別価格 1,500円

ご希望の方には、滋賀の恵みを取り入れた特製弁当をご用意いたします。ぜひ、お楽しみください。

坂本エリア 坂本ひな人形展

2020年2月15日土～3月3日火

明智光秀の菩提寺で、日本遺産にもなっている西教寺や普延暦寺の高僧の隠居所であった元里坊の旧竹林院、大津市指定文化財の公人屋敷の三合場で、「ひな人形展」を同時開催します。いずれも普段は見ることのできない昔のひな人形などを多数展示します。

- 時間 / 9:00～17:00 (休日・旧竹林院・公人屋敷は月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、祝日の翌日)
- 拝観料 / 西教寺500円、旧竹林院330円、公人屋敷100円
- お問合わせ先 / 坂本観光協会 TEL.077-578-6565
- JR比叡山坂本駅より徒歩約10分、京阪坂本比叡山駅より徒歩約2分

長浜エリア 第69回 長浜盆梅展

2020年1月10日金～3月10日火

長浜の春の風物詩として名高く、今年で69回目を迎えます。純和風の座敷に3m近い巨木や樹齢400年超の古木など約90鉢が展示され、歴史・規模ともに「日本の盆梅展」として親しまれています。今年も京都造形芸術大学プロジェクトチームとのコラボ展示が行われます。

- 場所 / 長浜市雲雲館
- 時間 / 9:00～17:00 (入館は16時30分まで)
- 拝観料 / 大人800円・小中学生400円
- 夜間ライトアップ / 2月1日(土)～3月8日(日)の土・日・祝日
- お問合わせ先 / 公益社団法人 長浜観光協会
- TEL.0749-65-6521
- JR北陸本線長浜駅より徒歩約3分、長浜港から徒歩約5分

雪見船からの乗り継ぎで

竹生島クルーズ

今津港、長浜港より運航

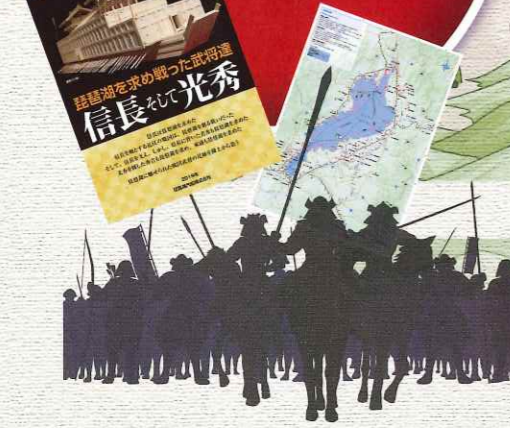
雪見船の大津～長浜便の片道ご利用のお客様で、当日に竹生島上陸をご希望される方は、長浜港で雪見船のチケットをご提示していただく。ご本人に限り竹生島クルーズ長浜定期航路(12:50発便)を特別価格1,600円(通常価格3,130円)にてご利用いただけます。
 ※竹生島上陸時に拝観される場合は大人500円、小人300円が必要です。



ご乗船のお客様に 湖周辺に点在する 武将ゆかりの地をまとめた

戦国MAPをプレゼント

※お一人様につき1冊に限り
 ※数量限定につき、無くなり次第終了



びわ湖で感じる 戦国浪漫

戦国時代びわ湖の存在を重視した武将達。信長の安土城や信澄の大溝城などびわ湖上で繰り広げられた。壮大な野望に想いを馳せてみませんか。

- 大津港へは ●JR大津駅からバス約5分、浜大津バス停下車(京阪バス・江若バス・近江鉄道バス)
 ●京阪・びわ湖大津駅下車徒歩約3分 (大阪・京都方面からはJR山科駅で京阪電車に乗り換え、京阪・びわ湖大津駅下車が便利です)
 ●名神大津ICから車で約10分
 長浜港へは ●JR長浜駅から徒歩約10分 ●北陸自動車道長浜ICから車で約15分

戦国のびわ湖を彩った、いにしへの船

光秀の囲船(元龜3年)

光秀の居城である坂本城は、船の利用を前提としていました。光秀自身水軍を率い、堅田、沖島の船を「囲船」なる戦艦に仕立て、攻撃を仕掛けていました。囲船の構造は不明ですが、この時代、丸子船の形と構造がほぼ出来上がっていたとされますので、これをベースとした、船長17m程度の船と考えられます。



信長の太船(元龜4年)

元龜3年(1572)5月、信長は大船の建造を命じ、わずか45日これを完成させました。頭領は岡部又右衛門で、長さは54m、幅13mと記録されています。この大きさは、琵琶湖汽船のピアンカ・ミシガンとほぼ同じで、当時としては世界最大級の船だったと考えられています。



ご乗船のお客様に

雪見船限定 「ARオリジナルフォトフレーム」をプレゼント!

ARで出現する「お城」や「船」を見える景色の中に浮かべてみよう。船内に設置された所定のポスターをスマホで撮影すると、雪見船限定でお城や船などのARフォトフレームが出現します。周辺の山々やびわ湖を背景にAR写真を撮って戦国武将の気分を味わおう。

※スマートフォン限定
 ※一部対応していない機種もございます



添乗ガイドが見える景色と 近江戦国についてご案内

大津市出身の画家・イラストレーターとして活躍する今森洋輔さんが雪見船に添乗します。見える景色のご紹介の他、戦国時代にまつわる近江の歴史などについてお話しします。

(プロフィール)
 1962年滋賀県大津市に生まれる。滋賀県高島市マキノ町在住の画家、イラストレーター。幼少よりびわ湖とその周辺に広がる里山で遊び育つ。1987年よりフリーランスとして独立。細密画のジャンルで定評を得る。最近はいちやうイラストレーションに専念。兄は写真家の今森光彦氏。

※画像は全てイメージです。※料金は全て税込です。